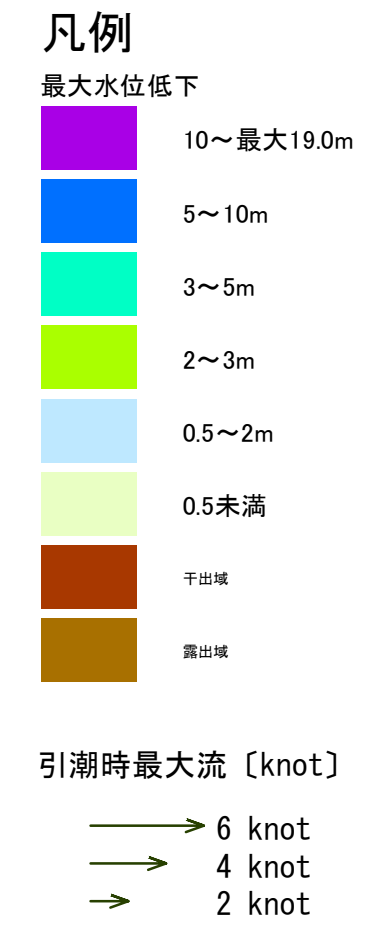
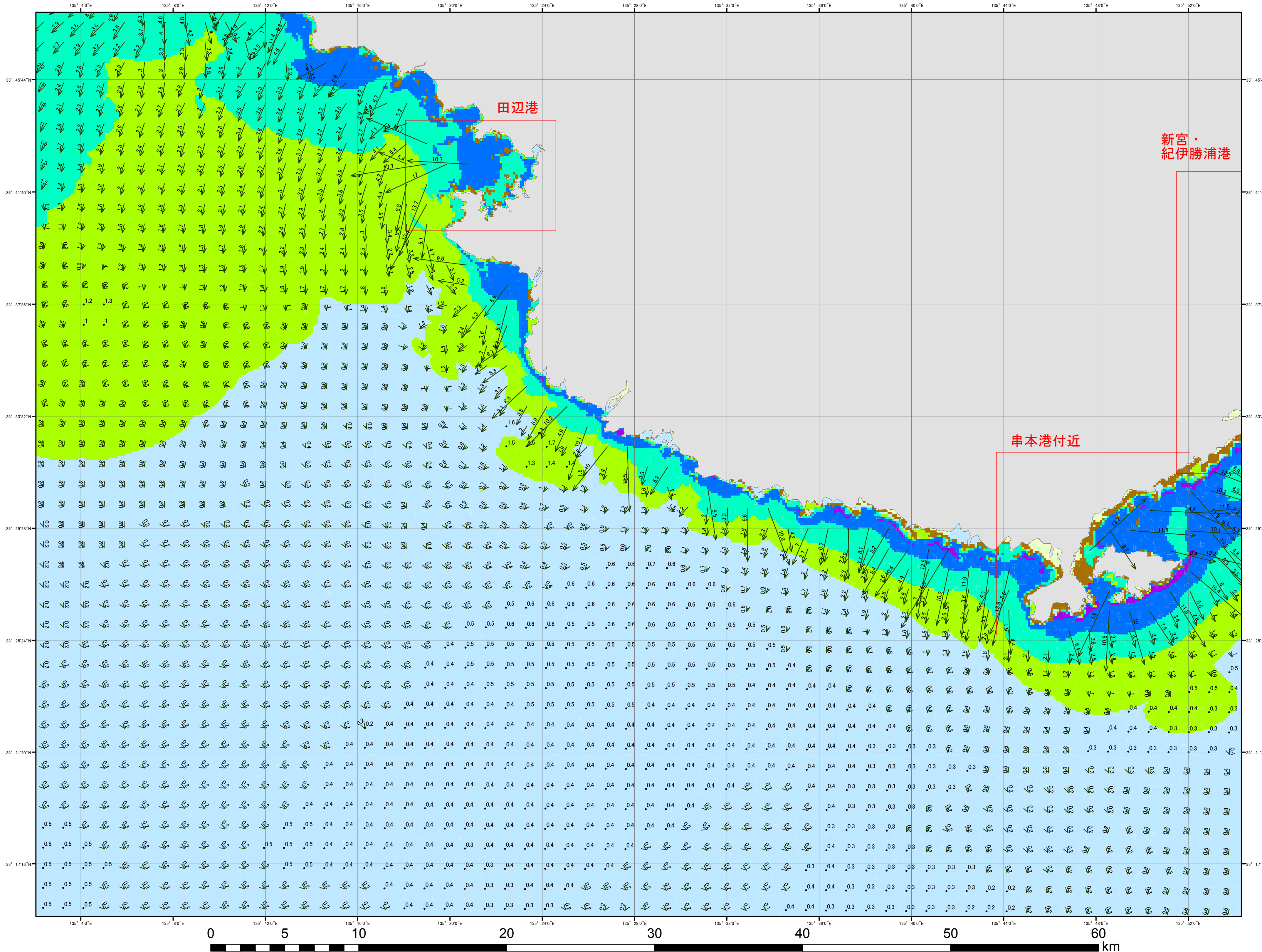


紀伊半島南西岸 広域津波防災情報図(引潮図)

計算条件：最低水面（零位）
 隆起量：平均 0.96m(-1.57m ~ 4.95m)
 Zo：1.0m
 備考：本図のシミュレーション結果は、震源の位置、規模、細かな地形などの影響により、実際のものとなることある。

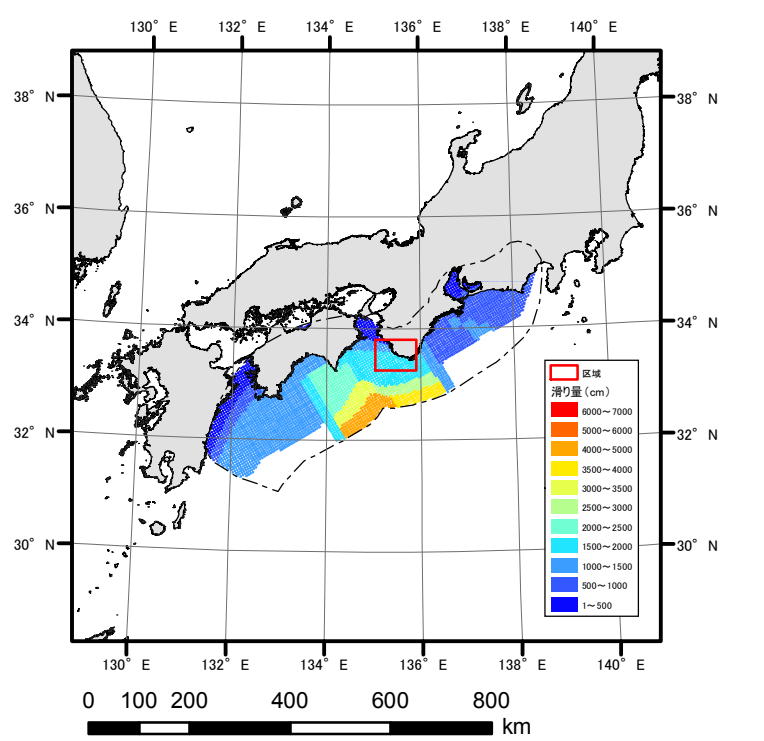


赤枠内には、さらに詳細な港湾の津波防災情報図があります。



○流向変化が激しく、進入、引潮等の判定が困難な海域では流速のみを表示した。
 ○流向、流速の表示については、陸岸から概ね500m以上離れた地点から行った。

断層モデル



ケース③「紀伊半島沖～四国沖に『大すべり域+超大すべり域』」

断層面積 S (km ²)	140,000
地震モーメント Mo (N·m)	6.4 × 10 ²²
平均すべり量 D (m)	10.9
モーメントマグニチュード Mw	9.1

本断層モデルは、内閣府の「南海トラフの巨大地震モデル検討会（第二次報告）（平成24年8月29日発表）」により公表されたものである。使用した断層モデルは、内閣府より公表された11ケースの中から、田辺港付近において、浸水面積が最大となるモデルを選定した。

作成機関：海上保安庁
 防災情報作成年月：平成23年7月（初版）
 地形データ作成年月：平成24年3月（初版）
 平成25年3月（改定）

○ 本図の作成にあたっては、「津波解析支援GISシステム (ArcGIS 10.2 対応)」を使用した。
 ○ 本図の作成にあたっては、以下の資料を使用した。
 ・ 海上保安庁が保有する水深データ